

平成 24 年 11 月 26 日

各 位

会社名 昭和ゴム株式会社

代表者名 代表取締役社長 渡辺 正

当社親会社の中国青島駐在員事務所開設と当社の取り組みに関するお知らせ

この度、当社の親会社であります昭和ホールディングス株式会社（以後「昭和」）は同社グループの事業展開の支援を行うため、中華人民共和国山東省青島市に駐在員事務所を開設いたしました。また、タイ王国におきましても同じく駐在員事務所を設立する予定です。当社は、今後はこれらの事務所からの支援を活用し、現在行っております当社ゴム事業のアジア全域展開ならびに国内事業の競争力強化に一層取り組んでまいる予定ですのでお知らせいたします。

記

この度の事務所開設を通じて、当社は下記の取り組みの推進を期待しております。

- ①当社事業の調達の強化
- ②当社事業の現地展開
- ③M&Aに向けての情報収集ならびに交渉等の活動

① 社事業の調達の強化

当社は、現在においても中国において各種ゴム製品の委託生産を行っております。当社は、これらの調達や委託生産に関して、必要な交渉等を昭和へ委託することや支援を受けることにより、現地に密着した交渉や生産管理、新規委託先の開拓が可能となり、コスト面や品質面などに効果があるものと考えております。

②当社事業の現地展開

当社は、既に中国において、ゴムライニング製品を請け負うなど事業を行っております。今後、中国国内においては環境汚染対応、旺盛な電力需要対応などを中心に当社製品への需要が見込まれると考えております。そこで本年 2 月より開始しております新規分野である橋梁、鉄道、発電所等の公共事業分野などにおいて、当社の独自技術が活かされるものと考えております。今後、昭和との協力を通じて現地展開の加速を期待しております。

③M&Aに向けての情報収集ならびに交渉等の活動

当社の行っておりますゴム事業は 2009 年に東洋ゴム工業株式会社より Showa Rubber (Malaysia) Sdn.Bhd. (旧 Toyo Rubber Malaysia) を取得して戦後初の海外拠点を入手し、本年 2 月にニューズ・ポリマー社の資産ならびに知的財産を昭和が取得し、当社がこれを事業化するという形で事業を拡大しております。この際に取得しました常陸大宮工場での生産も徐々

に増加しており、当社の事業拡大に貢献するものと確信しております。今後も昭和の支援を受けて、このような事案をアジア全体に拡大して参ります。

＊今後の見通し

当該駐在員事務所というグループ共有のインフラストラクチャーを活用することにより、当社としても当社の調達力強化、ゴム事業の現地受注を嚆矢に積極的に事業化に取り組んでまいります。また当社において既に3年間にわたり育成してきております中国人スタッフを現地に常駐させることとなっております。当社の海外展開を強く推進してくれるものと期待しております。



当社 東日本営業部から
派遣する 李明慧

当社は既に平成23年6月27日に当社の中期経営計画であります「アクセルプラン2012」をグループ共同で発表しております。この度の中国ならびにタイへの駐在員事務所の設置はアジア展開を一つの軸にしております同「アクセルプラン2012」の具体的な実行を大いに助けるものになると考えております。

＊駐在員事務所の概要

事務所名	日本昭和持股株式会社
住所	中華人民共和国山東省青島市市南区福州南路九号新世界大慶第18層1817号房同
首席代表	此下竜矢（昭和ホールディングス株式会社 代表執行役最高経営責任者 兼 当社代表取締役）

以上